

第10回のコラムは、原子力事故が起きたときに、放射性物質が体内に取り込まれるのを防ぐお薬『安定ヨウ素剤』のおはなしです。



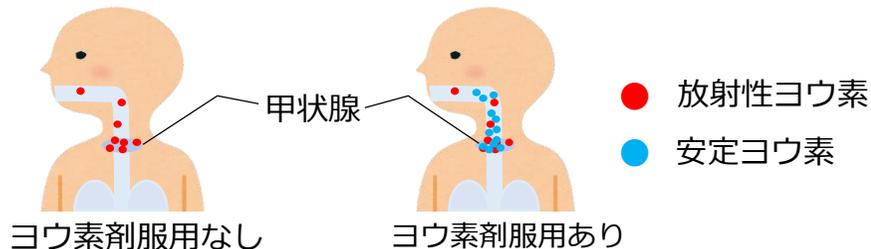
『安定ヨウ素剤』

安定ヨウ素剤とは

原子力施設で事故が発生し、放射性物質が放出された際に、「放射性ヨウ素」という物質による被ばくを抑える薬剤です。

ヨウ素剤は大洗町にお住いのみなさまが、避難等が必要となった段階で、町職員が配布します。

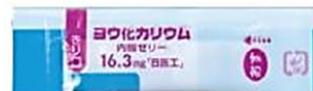
下の図のように、予め放射線を出さない「安定ヨウ素剤」で甲状腺を満たしておくと、体内に放射性ヨウ素が取り込まれにくくなります。



安定ヨウ素剤の種類

安定ヨウ素剤は、年齢によって飲む量が異なります。

対象者	服用種別	服用量
生後1か月未満	ゼリー剤	16.3mg
生後1か月～3歳	ゼリー剤	32.5mg
3歳～13歳	丸剤	1丸
13歳以上	丸剤	2丸



ゼリー剤16.3mg



丸剤（外包装と中身）



「放射性ヨウ素」は体の中に入ると、甲状腺がん等を発生させる可能性がある物質じゃ！
大洗町は、有事に備えて十分な量の安定ヨウ素剤を保管しているぞ。

次回は、『**避難退域時検査**』というテーマで、広報誌1月号の掲載を予定しています。

